

連載第66回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに

市民の分断ではなく、共に希望ある未来へ

横浜IR（統合型リゾート）を

めぐる議論について

Q. IRに反対し、立憲民主党、共産党らが共闘する「カジノの是非を決める横浜市民の会」が住民投票を求め約20万の署名を集めたと聞きました。住民投票が行われるのでしょうか。

ます。この条例案を可決するか否か：住民投票を行うか否かは議会で決定しますが、議会では公明党と自民党で過半数を占めるため、私のもとにも団体の方などから「条例案に賛成を」との声が多く寄せられています。

するな「カジノを誘致するかどうかは直接住民が決める」という声

入歳出の収支差は年々拡大し、2065年にはマイナス2160億円に及ぶことが示されました。一方でIRにより新たな都心臨海部の賑わいが創出される

限引き出し、依存症や治安などの懸念事項対策に徹底的に取り組み区域整備計画を作りあげていくことが大切です。また、IRはあくまでも数ある市の政策の一つです。市議員の役割は、様々なご意見をもちの市民を分断することではなく、議会制民主主義、二元代表制のもと、横浜市の希望ある将来を見据えて、冷静に、丁寧に責任ある議論を行うことだと考えています。横浜市に対しては、市会



横浜市議員
たけのうち猛
＜ご相談・ご連絡先＞
公明党金沢支部事務所：
金沢区富岡西 3-38-1-101
TEL：080-9804-9782
FAX：045-345-4345
info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

A. 住民投票条例の直接請求を受け、IR誘致の是非を問う住民投票を行うべきという「条例案」が議会に提出され

A. 厳しい財政事情が背景にあります。昨年9月に長期財政推計が公表され、人口減少、超高齢

Q. IRなので。A. 最も重要な課題ですね。

Q. 財源確保は、市民生活の質を左右する重要な課題です。A. その通りです。それに、カジノが良いか悪いかではなく、日本型IRのメリットを最大